

農政

口蹄疫対策について

■問い合わせ 農業振興センター 畜産係 ☎ 476-1111 (165)

● 畜産農家の皆様へ ●

飼養家畜について、毎日健康観察を行ってください。  
特に導入後の家畜は、2週間以上隔離飼育して、観察するようにしてください。

※口蹄疫を疑う症状

牛：発熱、食欲不振、流涎、口腔内や鼻腔内の水疱、びらん、潰瘍など。

豚：鼻部に水疱、蹄部にびらん、跛行など。

上記症状等、何らかの異常を認めた場合には、直ちに曾於家畜保健衛生所(487-2351)に連絡し、直ちに家畜や人の移動を自粛してください。

農場内への部外者の出入りを厳しく制限し、入出場時の消毒を徹底してください。

消毒ポイントを積極的に活用するなど、地域ぐるみで侵入防止に取り組んでください。

野生動物やねずみ、害虫の侵入防止など飼養衛生管理基準の遵守に努めてください。

● 牛肉・豚肉は食べても安全です ●

牛肉や豚肉を食べたり、牛乳を飲んだりしても口蹄疫にかかることはありません。他の偶蹄類動物にうつさないようにするため、口蹄疫が発生した農場の家畜は殺処分して埋却するとともに、発生した農場周辺の牛や豚の移動を制限しています。このため口蹄疫にかかった家畜の肉や乳が市場に出回ることはありません。

● 家庭でできる対策を！ ●

500ミリリットルのペットボトルにキャップ一杯の酢をいれるだけで消毒液が作れます。

玄関前などにタオルにしみこませて、消毒マットを設置し、自主防疫にご協力ください。

農政

大崎町農業振興センターからのお知らせ

■問い合わせ 農業振興センター 林務水産係 ☎ 476-1111 (164)

イヌマキの害虫『キオビエダシャク』の発生について

町内で、イヌマキとラカンマキの葉を食い荒らす『キオビエダシャク』の成虫が確認されました。庭などにイヌマキを植栽しているご家庭では、十分注意してください。

成虫は、全体的に濃い紺色で、羽に黄色の帯がある美しい蛾で、昼間飛び回ります。

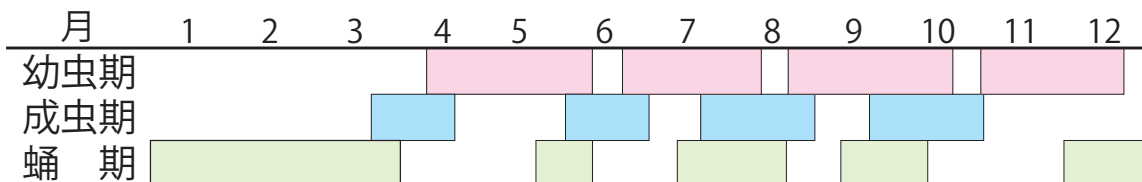


キオビエダシャク幼虫



キオビエダシャク成虫

キオビエダシャクの年間発生動向



【駆除方法】

幼虫に4,000倍に希釈した『トレボン乳剤』又は『スプラサイド乳剤』を1,500倍で散布します。(薬剤散布は幼虫に効果がありますが、成虫、卵及びサナギには効果がありません。)

幼虫のみが、イヌマキとラカンマキの葉を食害します。その他の樹木や人体に影響はありません。

(注) 農薬散布の際は、風向き等考慮し、飛散しないよう注意しましょう。